

日本言語技術教育学会 事務局通信 第 49 号

2020 年 3 月 10 日 (火)

第 29 回東京・青山大会役員 事務局長 富樫忠浩
事務局次長 富樫いずみ
事務局 渥美清孝 千葉勝志
和嶋康彦
大会実行委員長 岩井信康
大会事務局長 長谷川祥子

謹啓 早春の候、学会員の皆様に於かれましてはますます御清栄の段、何よりの慶事と心からお喜び申し上げます。今年度も御支援・御協力賜り、深く感謝申し上げます。

さて、今年度第 29 回大会は青山学院大学で開催しました。大会実行委員長岩井信康氏、大会事務局長長谷川祥子氏に加え、大会役員の皆様にたいへんお世話になりました。登壇者、大会役員、そして、全国からの出席者に心から感謝いたします。

来る令和 2 年度は 2020 年 6 月 28 日 (日) に第 30 回大会実行委員長の山中伸之氏、そして、宇都宮大学の上原秀一氏に御尽力いただき、栃木県・宇都宮大学で開催します。

テーマは「言語技術が見える授業づくりー『反論を先取りして主張する』『動物たちが教えてくれる海の中のくらし』『一つの花』『話し方』で身につけさせる言語技術ー」です。

大会当日、授業者、登壇者とフロアでの活発な意見交流を期待しています。多くの皆様に御参集いただき、学び合いましょう。お待ちしております。 頓首

I 日本言語技術教育学会会長挨拶 柳谷直明

第 29 回東京・青山大会では、皆様の積極的な御参加により盛会のうちに開催することが出来ました。御参加いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

また、東京・青山大会のアンケートへの御協力も誠に有難うございました。

事務局通信第 49 号は新事務局に担当してもらいました。前事務局茨城支部の皆様には、これまでの事務局の運営に関し、厚くお礼を申し上げます。

日本言語技術教育学会を推進して来られた先達の諸先生のお蔭様で言語技術教育の必要性は多くの方が認めるところとなってきています。そこで、本学会を現在推進している我々一人一人への期待は高まっています。したがって、我々には、質の高い論文を書き、言語技術教育の改善に資する使命があります。

先行研究を検討し、到達点を明らかにした上で研究成果を紀要に書き、研究大会で議論し合ひましょう。日本言語技術教育学会の進展は国語科教育へ寄与するだけではなく、国民の言語運用能力に寄与する高い価値を有しています。

なお、来年度、2020 年栃木大会は 6 月 28 日 (日) に宇都宮大学にて開催されます。皆様の積極的な参加により、充実した大会にしていきましょう。こくち一ずで大会名を検索して、お申込みいただき、事前入金をお願いします。

今後も会員の皆様の御協力をよろしく願ひいたします。

Ⅱ 日本言語技術教育学会第29回大会（東京・青山大会）

1 大会テーマなど

大会テーマ 言語技術が見える授業づくり——「論理的に読む学習」「すがたをかえる大豆」「天気を予想する」「ふきのとう」で身につけさせる言語技術——

【期 日】 2019年7月20日（土）10:00～16:50

【後 援】 東京都教育、渋谷区教育委員会

【会 場】 青山学院大学青山キャンパス14号館（総研ビル）12階大会議室
[〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25]

2 日程

9:30 受付開始 座席指定なし・先着順

9:50 開場・諸連絡

全体司会 富樫忠浩（事務局長）

連絡 岩井信康（大会実行委員長）

10:00 開会挨拶 柳谷直明（学会会長）

第一部 提案授業

10:10～10:30（20分） 模擬授業1 「論理的に読む学習」（6年）

授業者 池田尚子（東京・中央大学杉並高）

10:40～11:00（20分） 模擬授業2 説明的な文章「すがたをかえる大豆」（光村3年下）

授業者 柳谷直明（北海道・上砂川町立中央小）

11:10～11:30（20分） 模擬授業3 説明的な文章「天気を予想する」（光村5年）

授業者 井上善弘（国士舘大）

11:40～12:00（20分） 模擬授業4 文学的な文章「ふきのとう」（光村2年上）

授業者 岩下 修（愛知・名進研小）

12:00 諸連絡（昼食場所・総会案内等）

12:10 昼休み・理事会（同9階第16会議室）

13:00 学会総会（委員会、会計報告、予算案審議等） 第二部 提案授業の検討

13:30～14:15（45分） 検討1 「論理的に読む学習」

司会 長谷川祥子（青山学院大）

授業者 池田尚子（東京・中央大学杉並高）

登壇者 井上敬夫（東京・東大和市立第三中）

高橋秀一（元 山形・広幡小）

富樫いずみ (北海道・岩見沢市立中央小)

西山悦子 (東京・台東区立東泉小)

14:20~15:05 (45分) 検討2「説明的な文章1」

司会 中村孝一 (常葉大学)

授業者 柳谷直明 (北海道・上砂川町立中央小)

登壇者 國府田祐子 (松本大)

駒井隆治 (東京・渋谷区教育委員会)

高木輝夫 (茨城・ひたちなか市立阿字ヶ浦中)

増田 泉 (新島学園短期大)

15:10~15:55 (45分) 検討3「説明的な文章2」

司会 今井 東 (群馬・太田市立太田中)

授業者 井上善弘 (国土館大)

登壇者 大内善一 (茨城大名誉教授)

開田晃央 (茨城大)

篠原京子 (常葉大)

富樫忠浩 (北海道・夕張市立ゆうばり小)

16:00~16:45 (45分) 検討4「文学的な文章」

司会 佐藤洋一 (名古屋学芸大)

授業者 岩下 修 (愛知・名進研小)

登壇者 鶴田清司 (都留文科大)

野口芳宏 (植草学園大名誉教授)

山中伸之 (栃木・小山市立大谷東小)

平河 力 (福岡県教育センター)

16:45 閉会の挨拶 中村孝一 (副会長)

16:50 諸連絡, 懇親会案内他

17:00~18:30 懇親会 (アイビーホール)

3 第29回総会

大会の中で総会がありました。そこで承認された役員, 決算, 予算を掲載します。

(1) 2020年度学会役員

【会長, 代表理事】 柳谷直明

【会長代行, 副会長】 中村孝一

【会長代行, 副会長】 岩下 修

【常任理事】

・柳谷直明 ・中村孝一 ・岩下 修 ・野口芳宏 ・大内善一

【理事】

・渥美清孝 ・井上善弘 ・今井 東 ・岩崎 淳 ・岩下 修
・大内善一 ・大貫眞弘 ・小川智勢子 ・開田晃央 ・木山麻衣子
・京野真樹 ・國府田祐子 ・小森 茂 ・佐藤洋一 ・篠原京子
・高木輝夫 ・高橋 勲 ・高橋秀一 ・鶴田清司 ・照井孝司
・富樫いずみ ・富樫忠浩 ・中村孝一 ・中村麻里那 ・西山悦子
・野口芳宏 ・長谷川祥子 ・平河 力 ・兵藤伸彦 ・増田 泉
・松澤正仁 ・望月善次 ・安 暁彦 ・柳谷直明 ・山中伸之
・吉川和良 ・渡邊靖之 (計 37 名)

【監事】 ・中村麻里那 (茨城支部) ・大木真智子 (神田支部)

【事務局長】・富樫忠浩

【幹事】 ・富樫いずみ ・千葉勝志

2019年度 決算報告

2019年7月20日(土)

日本言語技術教育学会事務局長 富樫忠浩

(学会会計 中村麻里那)

「2019年度」は、第28回静岡大会当日の2018年6月30日から2019年7月19日までです。今回の決算には、第28回静岡大会の参加費、経費等が含まれています。そのかわりに第29回東京大会の参加費、経費等は除いてあります。第29回東京大会参加費、経費等は来年度の決算で報告致します。

I 収入	計	2,449,601円
(1) 前年度よりの繰越金		1,740,580円
(2) 第28回静岡大会参加費		684,000円
4,000円(会員参加費) × 45人 =		180,000円
4,500円(当日参加者参加費) × 80人 =		360,000円
2,000円(学生参加費) × 20人 =		40,000円
4,000円(懇親会費) × 26人 =		104,000円
(3) 新規会員学会費		21,000円
入会(大会当日) 3,000円 × 3人 =		9,000円
入会 3,000円 × 4人 =		12,000円
(4) 『言語技術教育』25号・26号・27号頒布代		4,000円
頒布(大会当日) 500円 × 5冊 =		2,500円
頒布 500円 × 3冊 =		1,500円
(5) 利息		21円

II 支出	計	560,443円
-------	---	----------

(1) 第28回静岡大会経費		471,108円
①大会運営準備費		
準備費 200,000円 + 送料 540円 =		200,540円
当日費 26,028円 - 懇親会費差額 12,370円 =		13,658円
②懇親会費		116,370円
③『言語技術教育』第28号印刷代		140,540円
(2) 文具費		2,441円
(3) 通信費(宅急便代・葉書代等)		50,618円
(4) 会議費(9/2理事会運営費用含む)		36,276円

III 繰越金	計	1,889,158円
---------	---	------------

I 収入: 2,449,601円 - II 支出: 560,443円 = 1,889,158円

以上

2020年度 予算案

2019年7月20日(土)

日本語技術教育学会事務局長 富樫忠浩

(学会会計 中村麻里那)

「2020年度」は、本日第29回東京大会当日の2019年7月20日から来年度第30回大会の前日までです。今回の予算には、第29回東京大会の参加費、経費等が含まれています。そのかわりに第30回大会の参加費、経費等は除いてあります。第30回大会参加費、経費等は来年度の予算に組み入れます。

I 収入	計	2,769,158円
(1) 前年度よりの繰越金		1,889,158円
(2) 第29回大会参加費(見込み)		850,000円
4,000円(会員参加費)	× 50人 =	200,000円
4,500円(非会員参加費)	× 100人 =	450,000円
2,000円(学生参加費)	× 20人 =	40,000円
4,000円(懇親会費)	× 40人 =	160,000円
(3) 新規会員学会費		30,000円
3,000円 × 10人 =		30,000円

II 支出	計	2,769,158円
(1) 第29回大会経費		600,000円
(2) 文具代		50,000円
(3) 通信費(理事会・事務局通信, その他)		130,000円
(4) 会議費(理事会, 事務局会議等)		200,000円
(5) 諸雑費(印刷費, アルバイト代等)		200,000円
(6) 予備費		1,589,158円

以上

4 『言語技術教育 29 号』内容

はじめに

柳谷直明

一 【特集】 私が主張する「言語技術教育論」

◆「言語技術」を吟味する方法—「引用」の主張の吟味を例として—

柳谷直明

◆国語科授業における〈対応〉の言語技術

大内善一

◆「技術」の内実解明と「学習用語」指導の意義

野口芳宏

◆大学の教師教育における作品分析法の指導

鶴田清司

◆木下是雄が提案する「言語技術教育」の具体化

長谷川祥子

二 授業1 [知識・技能] の取り立て教材での言語技術とその指導法

—教材名『論理的に読む学習』での授業と提案—

◆情報と情報との関係を考える（指導案）

池田尚子

◆情報と情報との関係を視覚化し、論理的思考力を育成する提案)

同

◆具体と抽象的概念の関係を教える

長谷川祥子

◆「具体と抽象の関係の操作に気づかせる」

井上敬夫

◆論理的に思考し、表現するための言語技術

高橋秀一

◆言語技術が見える、論理的に読む学習

富樫いずみ

◆小学生から始める「論理的文章の読み方・書き方」の学習

西山悦子

◆「創造的・論理的思考」を高める言語技術教育

有田弘樹

◆「引用」指導のすすめ

大淵康孝

◆私の授業プラン（見える学力、使える技術）

松澤正仁

◆「筋道の通った文章」を書くための言語技術と指導法

斉藤美智子

◆「言語技術の三層」から考える論理の学習指導

安 暁彦

◆文章構成を吟味することで、効果的に伝える

中村麻里那

◆「論理的に読む」ための言語技術とは何か

照井孝司

◆高学年で指導すべき「情報と情報との関係」＝演繹

光野公司郎

三 授業2 【読むこと】領域、説明的文章での言語技術とその指導法

—教材名『すがたをかえる大豆』での授業と提案—

◆育成する能力を明確にした説明的文章における目標別読解指導（指導案）

柳谷直明

◆育成する能力を明確にした説明的文章における目標別読解指導（提案）

同

◆事例の順序の意味や、事例の関係性に着目する

中村孝一

◆「書くこと」につながる三つの観点

國府田祐子

◆「よく読む」とは —椿原正和氏の『国語B問題』に学ぶ

駒井隆治

◆「すがたをかえる大豆」で身に付けさせたい言語技術

高木輝夫

◆段落の役割に気づき、中心となる語を見つける力

増田 泉

◆資質・能力を育てる「書く」技術

兵藤伸彦

- ◆「つながり」を意識して、資質・能力を育成する
- ◆説明的文章の学習から創造的な課題発見・解決能力を育てる
- ◆中学校・高等学校で指導すべき言語技術
- ◆「要約」しながら読むためのステップを踏んだ指導を

坂本 要
吉川和良
藤原かおり
徳山大輔

四 授業3 【読むこと】領域、説明的文章での言語技術とその指導法
—教材名『天気を予想する』での授業と提案—

- ◆論理的読解力を育成する説明的文章指導（指導案）
- ◆論理的読解力を育成するための説明的文章における指導（提案）
- ◆説明的な文章教材の指導のゴールは、「論理的表現力」である
- ◆言語技術としての筆者の〈発想〉を読み取る
- ◆理解を表現に生かす
- ◆「読むこと（論理的文章）」の学習は進歩した
- ◆言語技術指導が〔思考力、判断力、表現力〕育成に貢献する
- ◆テキストを根拠にした「自分の考え」の形成・深化
- ◆箇条書きの言語技術を指導する
- ◆【読むこと】領域、説明的文章での言語技術とその指導法
- ◆資質・能力を明確にした授業づくり
- ◆中学校につながる論理的文章の指導
- ◆「音読・キーワード・段落・文章構成」の指導を繰り返す
- ◆予測読みの習慣をつける —『天気を予想する』

井上善弘
同
今井 東
大内善一
開田晃央
篠原京子
富樫忠浩
左近妙子
小川智勢子
太田 等
室賀美紀
渡辺真由美
大木真智子
渡邊洋子

五 授業4 【読むこと】領域、文学的文章での言語技術とその指導法
—教材名『ふきのとう』での授業と提案—

- ◆『ふきのとう』（指導案）
- ◆発問・指示の機能を生かした課題提示で物語の読解授業を深化させる（提案）
- ◆資質・能力の育成と文学教材—テキスト形式と言語技術—
- ◆因果関係を理解する力と人物像を捉える力を育てる
- ◆教材の特質に合わせて「読みの技術」を指導する
- ◆言語技術教育の指導事例—「ふきのとう」（工藤直子，光村二上）の場合—
- ◆理由と共通点を探ることで，人物像を鮮明に
- ◆工藤直子「ふきのとう」の学習指導
- ◆低学年には思考が目に見える言語技術を使う
- ◆文学『ふきのとう』における音読の指導について

岩下 修
同
佐藤洋一
京野真樹
鶴田清司
野口芳宏
平河 力
岩崎 淳
川又智子
渥美清孝

六 第28回大会（静岡大会）の報告
編集後記

富樫いずみ
富樫忠浩

Ⅲ 日本言語技術教育学会第30回大会（栃木大会）

1 大会テーマ「言語技術が見える授業づくり－『反論を先取りして主張する』『動物たちが教えてくれる海の中のくらし』『一つの花』『話し方』で身につけさせる言語技術－」

2 日 時 2020年6月28日（日）10：00～17：05

3 場 所 宇都宮大学教育学部（8号館D棟1階，8D11教室）
[〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350]

4 日 程

9：30 受付開始 座席指定なし・先着順

9：50 開場・諸連絡

全体司会 富樫忠浩（事務局長）

連絡 山中伸之（大会実行委員長）

9：55 開会挨拶 柳谷直明（学会会長）

**第一部 提案授業 ※ビデオ不可，写真撮影は人使用の場合みの可。
※所属は2020年3月現在です。**

模擬授業1 『反論を先取りして主張する』（中2年）

10：00～10：25 （25分）

授業者 中村麻里那（茨城大学附属中）

模擬授業2 『動物たちが教えてくれる海の中のくらし』（東京書籍5年）

10：30～10：55 （25分）

授業者案 小泉尚子（中央大学杉並高）

模擬授業3 『一つの花』（教出小4上）

11：05～11：30 （25分）

授業者案 岩下 修（名進研小）

模擬授業3 『話し方』（小高学年想定）

11：35～12：00 （25分）

授業者 野口芳宏（植草学園大名誉教授）

12：00 諸連絡（昼食場所・総会案内等）

12：10 昼休み・理事会（8A23教室）

13：00 学会総会（事業・会計報告，事業・予算案等）

第二部 提案授業の検討

検討1 書くこと領域 13:20~14:10 (50分)

指定討論者・司会 中村孝一 (常葉大学)
提案者 中村麻里那 (茨城大学附属中)
指定討論者 篠原京子 (常葉大)
開田晃央 (茨城大)
國府田祐子 (松本大)
佐藤洋一 (名古屋学芸大)

検討2 読むこと領域1 14:15~15:05 (50分)

指定討論者・司会 長谷川祥子 (青山学院大)
授業者 小泉尚子 (中央大学杉並高)
指定討論者 富樫忠浩 (夕張市立ゆうばり小)
山中伸之 (栃木・小山市立大谷東小)
西山悦子 (台東区立東泉小)
上原秀一 (宇都宮大学)

検討3 読むこと領域2 15:15~16:05 (50分)

指定討論者・司会 柳谷直明 (上砂川町立中央小)
授業者 岩下 修 (名進研小)
指定討論者 京野真樹 (秋田)
増田 泉 (新島学園短期大)
今井 東 (太田市立太田中)
鶴田清司 (都留文科大)

検討4 話す・聞く領域 16:10~17:00 (50分)

指定討論者・司会 大内善一 (茨城大名誉教授)
授業者 野口芳宏 (植草学園大名誉教授)
指定討論者 高木輝夫 (ひたちなか市立阿字ヶ浦中)
富樫いずみ (岩見沢市立中央小)
小川智勢子 (三郷市立吹上小)
平河 力 (福岡県教育センター)

17:00 閉会挨拶 中村孝一 (副会長)

17:05 諸連絡, 懇親会案内他 ※懇親会は17時30分~大学生協です。

5 参加費など

■当日入金 非会員 5,000円 会員 4,500円 学生 2,500円 (資料他込み)

■懇親会 当日受付 5,000円

■事前入金 (6月12日締切) 非会員 4,500円 会員 4,000円 学生 2,000円

■昼食 学食利用可

6 大会申し込み方法

- (1) 葉書での会員証の送付は行いません。できるだけ6月12日までの入金で事前入金金額になります。大会名をネットで検索し、「こくちーズ」でお申込みください。入金は次の銀行口座へお願いします。「ゆうちょダイレクト」からだと月5回まで振り込み手数料が無料です。
- (2) 事前入金先
 - ① ゆうちょ銀行からは次です。
「記号 19700／番号 16017741 ニホンゲンゴギジュツキョウイクガツカイ」
 - ② 上記他の金融機関からは次です。
「店名九七八／店番 978／預金種目普通預金／1601774」
- (3) 事前入金後、下記事務局へ氏名、勤務先、Eメールアドレスをお知らせください。
- (4) 「コクチーズ」以外の申込み等は学会事務局へ。
学会事務局長 富樫忠浩 E-mail tada.gengogijyutu@gmail.com

7 アクセス

・JR宇都宮駅西口から

- ① 3番乗り場（JRバス関東）：清原台団地行、芳賀町役場行、祖母井行、茂木行、ベルモール行など（乗車時間15分）「宇大前」下車徒歩1分
- ② 14番乗り場（関東自動車）：真岡行、益子行、海星学院行、卸団地循環、ベルモール行など（乗車時間15分）「宇都宮大学前」下車徒歩1分

・JR宇都宮駅東口から3番乗り場（関東自動車）：宇大循環線（左回り）、柳田車庫行、ベルモール行など（乗車時間10分）「宇都宮大学前」下車徒歩1分、タクシー5分

・東武宇都宮駅から

- ① 1番乗り場（関東自動車）：全ての便（乗車時間25分）「宇都宮大学前」下車徒歩1分
- ② 4番乗り場（関東自動車）：全ての便（乗車時間25分）「宇都宮大学前」下車徒歩1分、タクシー15分

8 令和2年度 第1回 理事会

日 時 2020年6月28日（日）12：10～12：50

場 所 宇都宮大学8A23 教室

※ 御欠席される理事の方は議事の審議・承認について、議長に御一任いただきますよう、よろしくお願いいたします。

IV 学会紀要について

紀要第1号～第21号は明治図書から刊行されております。そちらもお読みください。

- 『言語技術教育 第1号』特集 言語技術教育でどんな力がつくか (1580円)
- 『言語技術教育 第2号』特集 言語技術教育の観点から新教科書を点検する (1794円)
- 『言語技術教育 第3号』特集 言語技術教育としての『話し方・聞き方』指導を構想する (1794円)
- 『言語技術教育 第4号』特集 この文学教材でこの言語技術を教える (2314円)
- 『言語技術教育 第5号』特集 説明的文章を使ってどんな言語技術教育を身につけさせるか (1682円)
- 『言語技術教育 第6号』特集 論理的思考力を鍛える作文技術 (1995円)
- 『言語技術教育 第7号』特集 討論の授業がどんな言語技術教育を身につけさせるか (1890円)
- 『言語技術教育 第8号』特集 音声言語指導の教材開発・授業開発 (2058円)
- 『言語技術教育 第9号』特集 総合的学習を支える言語技術とは何か (2205円)
- 『言語技術教育 第10号』特集 総合的学習と「読み・書き」の技術 (2058円)
- 『言語技術教育 第11号』特集 到達度・絶対評価の基準としての言語技術 (1953円)
- 『言語技術教育 第12号』特集 「絶対評価」で問われる基礎学力と結果責任 (1995円)
- 『言語技術教育 第13号』特集 二十一世紀に求められる言語技術とは何か (1760円)
- 『言語技術教育 第14号』特集 「この言語技術」を「この授業」で身につける (1890円)
- 『言語技術教育 第15号』特集 「読解力の低下」問題と国語科授業の改革 (1953円)
- 『言語技術教育 第16号』特集 国語学力を育てる言語技術教育 (1953円)
- 『言語技術教育 第17号』特集 論理的な「言語力」を育てる国語科の授業 (1953円)
- 『言語技術教育 第18号』特集 「伝統的な言語文化」を活かす言語技術 (1680円)
- 『言語技術教育 第19号』特集 「伝統的な言語文化」を深める授業力とは (1890円)
- 『言語技術教育 第20号』特集 「この言語技術」で思考力・表現力が高まる (1953円)
- 『言語技術教育 第21号』特集 新教材・伝統的な言語文化をどう授業化するか (1890円)
- 『言語技術教育 第22号』特集 単元を貫く言語技術を解明する (1890円)
- 『言語技術教育 第23号』特集 言語技術が見える授業づくり—学力向上に役立つ言語技術— (500円)
- 『言語技術教育 第24号』特集 「文学教材の授業で身につけさせる言語技術」とは何か—「ごんぎつね」を例に— (500円)
- 『言語技術教育 第25号』特集 言語技術が見える授業づくり—「大造じいさんとがん」「和の文化を受けつぐ—和菓子をかざる—」で身につけさせる言語技術— (500円)
- 『言語技術教育 第26号』特集 言語技術が見える授業づくり—「ごんぎつね」「天気を予想する」で身につけさせる言語技術— (500円)
- 『言語技術教育 第27号』特集 言語技術が見える授業づくり—「スイミー」「すがたをかえる大豆」「短歌」で身につけさせる言語技術— (500円)
- 『言語技術教育 第28号』特集 言語技術が見える授業づくり—「リクエスト給食のメニューを決めよう(話す・聞く)」「新商品のよさを伝えよう(書く)」説明文「未来に生かす自然のエネルギー」文学「海のいのち」で身につけさせる言語技術— (500円)

『言語技術教育 第29号』特集 言語技術が見える授業づくり

－「論理的に読む学習」「すがたをかえる大豆」「天気を予想する」「ふきのとう」で身につけさせる言語技術－（1000円）

V 新規会員の申し込みについて

本学会は、研究者と現場の教員が同じ土俵に立って意見交換ができる場です。また、言語技術教育の解明、普及のために提案を続けています。この学会に周りの方々を会員にお誘いください。

入会は下記の口座に3,000円を振り込んでいただければすべて完了します。

年会費制ではないので、1回振り込むだけです。

事務局変更に伴い、「銀行及び口座番号」が新しくなりました。お気を付けください。

① ゆうちょ銀行からは次です。

「記号19700／番号16017741 ニホンゲンゴギジュツキョウイクガッカイ」

② 上記他の金融機関からは次です。

「店名九七八／店番978／預金種目普通預金／1601774」

※ 学会会場の受付でも入会手続きが可能です。

VI 学会ホームページ

学会のホームページは以下のとおりです。御活用ください。

日本言語技術教育学会ホームページ <http://nggkg.net/>